

IPNU

キャンパスネット



地域で地域住民とともに学ぶ

今年も学生は地域をフィールドに元気に活躍し、住民との交流をとおして、地域の暮らしや文化を学び、生活面から人々と家族・地域を支える看護の視点を養っています。これからも皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



2013年8月28日(水)・9月21日(土)～22日(日)・10月12日(土)～13日(日)能登町

文部科学省大学間連携共同教育推進事業

「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築
ヒューマンヘルスケア人材育成プロジェクト」(学生有志)

2013年9月29日(日)

かほく市防災訓練

(災害看護論履修4年生56名)

トリアージ訓練の模擬患者役、
応急処置や心肺蘇生訓練のアシスタント、
ボランティアセンター設立支援などを実施



2014年2月28日(金)～3月2日(日)宮城県

被災地学生ボランティア活動(災害ボランティアサークルふたば)

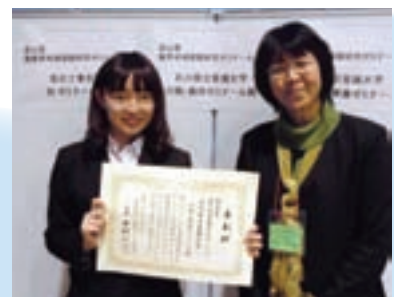
2014年3月1日(土)

平成25年度大学コンソーシアム石川

「地域課題研究ゼミナール支援事業」成果報告会優秀賞受賞(1年生6名)

テーマ「たかまつまちかど交流館の活用と地域振興のための調査研究

～みんなが交流できる場所づくり～



目次

学生活動特集	1	大学公開フォーラム2013「笑いと医療～笑う看護に福来る～」	5	第IV段階実習	7
大学の主な動き		図書館より	5	卒業研究	7
平成25年度卒業式・学位授与式	2	キャンパスライフ		大学院	7
卒業生の言葉(学部)	3	第14回看大祭の開催とお礼	6	卒業生の内定状況	8
修了生の言葉(大学院)	3	夏期アメリカ看護研修	6	国家試験結果	8
学長表彰	3	サークル紹介	6	平成26年度キャンパススケジュール	8
専門看護師(CNS)認定審査に合格!!	3	この1年を振り返って			
秋のオープンキャンパス	4	基礎看護学実習Ⅰ	7		
看護キャリア支援センター設立記念講演会	4	基礎看護学実習Ⅱ	7		

大学の主な動き

平成 25 年度卒業式・学位授与式

2014年3月15日（土）、平成25年度卒業式・学位授与式が挙行政され、看護学部82名、看護学研究科博士前期課程8名、計90名が本学を巣立ちました。

石垣学長は式辞で、哲学者コールリッジの言葉を引用しながら、掛け替えのない人生を生きる人々との出会いと別れを大切に、看護の個別性と共通性を学びつつ成長してくださいとエールを送られました。送辞で在校生代表の3年 日高 樹さんが感謝と先輩に続く決意を、答辞で卒業生総代の南 克典さん、修了生総代の上埜 千春さんが本学で学んだ看護の知識と心を忘れずに、情熱を持って看護の道を歩み、その発展に寄与していく決意を述べました。

後輩の合唱に送られ式場を後にする学生たちの表情は清々しく、輝きに満ちていました。

学生部長 浅見 洋



大学の主な動き

卒業生の言葉 (学部)



大学生活を振り返ると、4年間は長いようで短く、あっという間でした。1番に思うことは勉強を頑張ったということです。なかでも印象に残っているのは臨地での看護学実習です。辛いこともたくさんあったけれど、その

分乗り越えられたときには達成感があり、少しは成長できたのではないかなと思います。勉学だけでなく、長期休暇には友人と遊んだり、アルバイトをしたりと私生活も充実した楽しい大学生活でした。春からは友人たちとは別々の進路になるので、寂しく不安な思いでいっぱいですが、「看護」を教えてくださいました先生方、いつも支えてくれた家族や友人など関わってくださったすべての方々に感謝し、自分の選んだ進路で精一杯頑張ろうと思います。ありがとうございました。

4年 赤坂 愛実

修了生の言葉 (大学院)



大学院に入学してからの2年間、尊敬し信頼できる先生の下で研究を進めることができたことは私の生涯における最大の喜びの一つとなりました。二十数年前に卒業した大学での卒業論文作成の充実感が忘れられずにいましたが、大学を卒業

してから時を経て思いがけず選択した看護師という職業と大学での学びにつながりを見出し、過去の学びをより発展させたいと思い大学院に入学しました。看護は職業としてもやりがいがありますが、同時に一生かけて追い求め、学び続ける対象でもあることを大学院での研究を通して、改めて感じました。大学院で学ぶ事ができた事に感謝し、修士としての誇りと責任を胸に、これからは社会に何らかの還元ができるよう努めていきたいと思っています。

看護デザイン分野 大永 慶子

学長表彰

平成25年度学長表彰は、個人では4年 南克典さん、団体では学生広報委員4年 赤坂愛実さん、赤島薫さん、河合祐来さん、南克典さん、宮崎志保さん、村中裕紀さんの6名が受賞されました。おめでとうございます。



専門看護師(CNS)認定審査に合格!!

2013年12月11日(水)に第23回専門看護師認定審査合格者が発表され、本学CNS課程修了者4名が合格しました。

今回の合格者

がん看護専門看護師：2名

老人看護専門看護師：1名

小児看護専門看護師：1名

大学の主な動き

秋のオープンキャンパス

秋のオープンキャンパスを2013年10月27日（日）に開催しました。高校生とその保護者ら約180名に参加していただきました。今年度から初めてオープンキャンパスを年2回開催することになり、今回の内容は大学案内に加えて大学教員による入試対策セミナーを実施しました。入学試験シーズンを目の前にしている参加者は熱心に講師の話に耳を傾けていました。学生広報委員によるキャンパスライフ紹介および相談・交流コーナーでは、受験対策や学生生活について参加者と在学生在が和やかに話し合いながら交流を深めていました。また、当日は大学祭も開催されており、大学の雰囲気を十分に感じていただけたと思います。



看護キャリア支援センター設立記念講演会

看護職者のキャリア形成中核拠点である本学附属看護キャリア支援センターの設立記念講演会を、2013年11月2日（土）に開催しました。記念講演Ⅰでは、ワシントン大学看護学部のフランシス・M・ルイス先生より「米国における高度実践看護師の教育と実践活動」と題し、記念講演Ⅱでは、お茶の水女子大学名誉教授の波平恵美子先生より「いきる・くらす人に寄り添う看護へのまなざしと期待」と題し、ご講演をいただきました。講演会には約250名の参加があり、質疑応答では参加者から多くの発言があり、活発な意見交換が行われ、盛況のうちに終了しました。



フランシス・M・ルイス先生



波平恵美子先生

大学の主な動き

大学公開フォーラム 2013「笑いと医療～笑う看護に福来る～」

2013年10月27日（日）に石川県立看護大学公開フォーラム2013を開催しました。

今回の公開フォーラムは「笑いと医療～笑う看護に福来る～」と題して、本邦で唯一の医師でもある真打落語家、安部正之（春雨や落雷）氏を講師にお迎えしました。

第一部お達者落語会では、有名な江戸古典落語の「目黒のさんま」が披露され、お殿様と家臣のコミカルなやり取り、美味しいさんまがパチパチと焼ける

リズムカルな音や香ばしい匂いが感じられる安部先生の素晴らしい落語に、会場は大きな笑い声で盛り上がりました。



第二部、いきいき医学講話「笑いと免疫力・・・そして健康」では、笑うことによってナチュラルキラー(NK)細胞の機能が高まることや、この細胞ががん予防等に大きな役割を果たすことなどをご紹介いただきました。気さくな先生のジョークを織り交ぜた講話に、会場からは落語に引き続き大きな笑い声が響きました。そして、最後に、これらのことから健康の秘訣は「几帳面になりすぎず、ちゃらんぼらんでいい」とお話された時には、たくさんの方が大きく頷いていました。

さらに「笑いヨガ」を看護に取り入れる研究をしている本学教員も交えたディスカッションコーナーでは会場のみなさまと質疑応答をしながら交流しました。「笑いヨガ」の呼吸法を用いた笑い方を全員でやってみたり、今日から使える「小話」を教わったり、最後まで笑いの耐えない楽しい会となりました。

石川県立看護大学では、これからも教員の研究成果を県民のみなさまの健康づくりに活かしていただけるよう講演会や研修会などを企画していきたいと考えております。みなさまの参加をお待ちしています。

図書館より

企画展「日本のナイチンゲール」展の開催について

秋のオープンキャンパスから1週間「日本のナイチンゲール」と題して、新島（山本）八重、瓜生岩（岩子）の2人を取り上げて企画展示を行いました。

新島（山本）八重（1845～1932）は日清戦争で篤志看護婦として従軍、看護婦の地位向上に務めました。瓜生岩（1829～1897）は戊辰戦争で敵味方の区別なく負傷兵を看護し、避難民の救援に尽力し、八重同様「日本のナイチンゲール」と称されました。

展示をご覧いただいた皆様には、「看護職」が職業としての地位を築くまでには、多くの先人たちの努力があったことを知っていただけたと思います。



キャンパスライフ

第14回看大祭の開催とお礼

看大祭を2013年10月26日(土)・27日(日)に開催しました。今年も多くの方々に本学の大学祭を楽しんでいただき、大盛況のうちに無事終了することができました。当日までの準備は大変でしたが、テーマ「笑顔満祭～WA! HA! HA! 笑顔になってもらいたいデス!～」のとおり、来てくださった皆さまの笑顔、がんばって運営していた学生の笑顔がたくさんあふれる大学祭になりました。大学祭に来ていただいた皆さま、企画出展をしていただいた皆さま、かほく市関係者の皆さまをはじめ、本学教職員、学生みんなのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



第14回大学祭実行委員長 2年 新田 大貴

夏期アメリカ看護研修

2013年8月25日～9月7日の2週間にわたり、夏期アメリカ看護研修がワシントン州シアトルで行われ、学生17名(3年生15名、2年生2名)が参加しました。

初めはアメリカという新しい環境に戸惑いを感じましたが、異文化に触れてコミュニケーションをとることで環境にも慣れ、アメリカでの生活を楽しむことができました。研修には、病院等の施設見学のプログラムも組み込まれており、最先端の医療機器を見学したり、日本とは異なる医療・保険制度や医療技術について学んだりすることで改めて日本の医療について考える機会となりました。

3年 堀田 朱里



サークルの紹介

バレーボールサークル

私たちバレーボールサークルは、毎週月曜日に活動しています。バレーボールはもちろん、みんなでおしゃべりをして楽しく活動しています。サークルメンバーには初心者や勉強優先、バイト優先のメンバーも多いのですが、バレーボールをしたいときに気軽に参加して楽しむという感じです。春には歓迎会、夏には温泉旅行などのイベントもしています。先輩・後輩関係なくみんな仲が良いので試験や看護学実習についての情報交換がとても役に立っています。興味がある方はぜひ体育館に遊びに来てください。



この1年を振り返って

基礎看護実習 I



基礎看護学実習 I は初めての臨地での看護学実習だったのでわからないことの方が多く、とても不安な気持ちで臨みました。

私は介護老人保健施設で実習し、今まで想像していた病院の環境や患者さんの療養生活とは違い、家のような環境で各々の個室があり、様々な障がいを持った利用者さんが自立することを目標に生活をしていらっしゃいました。私が一番印象に残っていることは看護師さんをはじめ施設の職員の方が何でも手伝ってあげるのではなく、利用者さんが工夫してできることは自分の力でおこなっていることでした。職員の方の援助内容は利用者さん一人ひとりに対して違い、すべてのことを援助するよりも時間がかかってしまい大変なこともありました。利用者さんにとって一番必要な良いケアを実践しているのだと感じました。短い期間の実習でしたが、とても充実した学びになりました。

今後もこの学びを忘れずに学習に生かしていきたいです。

1年 南 祐花

基礎看護学実習 II



私は基礎看護学実習 II で周術期にある患者さんを受け持たせていただきました。初めての病院実習で、患者さんに対してどのようなケアをすればよいかかわからず、悩むことが多くありました。しかし毎日、患者さんのあたたかい言葉や笑顔に励まされ、少しでも力になりたいと思い、一生懸命勉強することで患者さんに対するケアにつながったのではないかと思います。今回の実習を通じて、自分の看護の知識不足を痛感しました。いくら患者さんの力になりたいと思っても、基礎的な知識が不足していると、患者さんの状態を正確に把握できず、必要なケアにつなげられません。この学びを生かし、今後の学習に励んでいきたいと思っています。

2年 清女谷 亜樹

第 IV 段階実習



実習中は自分の思うように看護ができなかったり記録が多かったり、大変なことがたくさんありました。何度も実習に行くのが苦痛に感じたことがありますが、そんな中でも患者さんと触れ合う時間はとても楽しくて、患者さんに励まされながら最後まで続けることができました。決して質の高い看護ができたとは思えませんが、最後に患者さんに「ありがとう」と言われると本当に嬉しかったです。看護師という仕事は大変ですが、素敵な仕事だと改めて感じました。また、患者さんの生の声を聞くことで大学内の講義では学べないことをたくさん学ばせていただいたと思います。このIV段階実習で学んだことを今後を生かして、立派な看護師になれるようにこれからも頑張っていきたいです。

3年 栗津 陽絵

卒業研究



卒業研究を通して、移り変わる現状を踏まえて日々学びを進めることの大切さを感じました。データや法律、社会情勢、人々の価値観等の変化を踏まえ、必要な情報を集めて分析するためにも、基本的な知識を得た上で多くの文献と向き合っていました。

私の取り組んだ研究テーマは公表されている文献数が少なく、結果や考察をまとめることがとても困難でした。しかし、自分の研究テーマに沿った文献を抽出し読み深めていく中で、研究に対する意欲がさらに湧き、ゼミの仲間や先生と意見交換を行ったことで、初めは難しさを感じていた卒業研究も楽しく取り組むことができました。

長期間に渡りご指導いただいた先生とゼミの仲間へ深く感謝しています。

4年 安田 佳菜

大学院



私は、認知症看護をより深く学びたいと考え、博士課程に進学しました。振り返ると、一つのことを突き詰めることの大変さと大切さを痛感した一年間でした。そして今、認知症ケアにおける看護職の役割の大きさや、実践に還元できる研究の重要性を改めて感じています。研究課題のことが常に頭から離れない生活が辛くなることもありますが、その分成果が得られた時の喜びは格別だと思います。しっかりと悩みつつ、進んでいきたいと思っています。

博士後期課程 1年 渡邊 陽子



職場の理解もあり、三交代勤務をしながら小児看護専門看護師を目指し学んでいます。仕事以外の時間のほとんどは講義や課題・実習に追われ、とても過密なスケジュールですが、職場で今問題になっている事を討論する事や病棟勤務ではなかなか経験できない事を実習先で経験できる事もあり、大学院での学びを即現場で実践できる事も多く、とても毎日が充実しています。一つ一つの学びを大切に、看護に生かしていきたいと思っています。

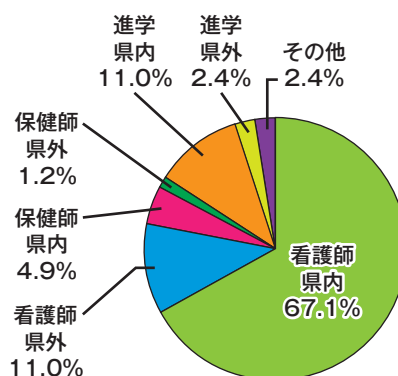
博士前期課程 1年 長村 純子

卒業生の内定状況

2014年3月13日現在の就職内定・進学状況は次のとおりとなっております。

<県内就職内定・進学先>

- 【看護師】金沢大学附属病院、石川県立中央病院、
金沢社会保険病院、公立松任石川中央病院、
石川県済生会金沢病院、金沢赤十字病院、
医王病院、市立輪島病院、金沢医療センター、
公立穴水総合病院、石川県予防医学協会
- 【保健師】七尾市、珠洲市、金沢市、金沢大学保健管理センター
- 【進学】金沢大学養護教諭特別別科、
金沢大学大学院保健学専攻助産学分野



<県外就職内定・進学先>

- 【看護師・保健師】富山大学附属病院、富山県立中央病院、
福井県済生会病院、福井県立病院、
名古屋大学医学部附属病院、愛知医科大学病院、国立国際医療研究センター、琵琶湖大橋病院、
社会福祉法人牧野・野村地域包括支援センター
- 【進学】新潟大学養護教諭特別別科


国家試験結果

平成25年度看護師・保健師国家試験合格状況(第11期生の状況)

区分	卒業生	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
看護師	82名	75名	74名	98.7%	95.2%
保健師	82名	81名	79名	97.5%	88.8%

平成26年度 キャンパススケジュール

前 期		後 期	
入学式	4月 4日(金)	授業開始	10月 1日(水)
ガイダンス	4月 4日(金) ~ 4月 7日(月)	履修登録受付	9月 19日(金) ~ 10月 3日(金)
健康診断	4月 7日(月)	大学祭(看大祭)	10月 25日(土) ~ 10月 26日(日)
授業開始	4月 8日(火)	秋のオープンキャンパス	10月 26日(日) 予 定
履修登録受付	4月 4日(金) ~ 4月 14日(月)	冬季休業	12月 24日(水) ~ 1月 4日(日)
開学記念日	5月 29日(木)	補講・試験	2月 10日(火) ~ 2月 20日(金)
夏のオープンキャンパス	7月 19日(土)	春季休業	2月 21日(土) ~
補講・試験	7月 29日(火) ~ 8月 8日(金)	卒業式・学位授与式	3月 14日(土) 予 定
夏季休業	8月 9日(土) ~ 9月 30日(火)		
夏期アメリカ看護研修	8月 26日(火) ~ 9月 8日(月)		

石川県公立大学法人

石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科
 ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319
 URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

版權は石川県公立大学法人に帰属します